

その他の土木工事業における金属材料を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	10～ 11	資材を置くため、単管パイプ棚を作る作業中高さ80cmの棚からトラックの荷台上へ移動する際に足を滑らせて転倒、右肋骨及び右足を強打し負傷した。	54	—
1	15～ 16	店舗外構改修工事現場に於いて、架設鋼板撤去時に、重機で吊りあげる際に単管パイプが跳ね上がり、単管パイプと接触し、顔の頬と目蓋に受傷した。	39	
1	10～ 11	鉄筋出来形撮影用に準備中、鉄筋を結束線で（直立させるため）仮止めしていたところ、垂直にしようと引っ張ったところ、反対側の結束線が外れ、鉄筋がひしゃげて右背部に倒れ被災した。	45	100 ～ 299
1	8～9	生コンクリート用砂利製造プラントで、ベルトコンベアー支持ピン（重量20kg）を取替中に、取替ピンを設置場所に一時預けていて、取替ピンがバランスを崩し落下し、ベルトコンベアー基礎の上に手を置いていた被災者の左手に落下し被災した。	48	50 ～ 99
2	14～15	当社敷地内において、資材の整理中の事故である。被災者が、鋼矢板（L=4m、240kg）を重ね置きするために倒したところ、吊り金具（シャックル）が外れないため鋼矢板の両耳にフックを引っ掛け、クレーンで50cm程度吊り上げ、鋼矢板の下に右手を差し込み、シャックルを外そうとした時に、両耳に引っ掛けていたフックの片方が外れて落下し、下の鋼矢板と落下した鋼矢板で右手を挟まれて、右手親指及び薬指を骨折した。	54	30 ～ 49
2	10～11	鉄筋籠（長さ9m、直径88cm）3本をトラックに積み、荷締めをしていた。鉄筋籠をしっかりと固定するため荷締めのワイヤーをずらそうと鉄筋籠の上を歩いたところ、鉄筋から足を踏み外し（鉄筋の幅縦287mm、横282mm）膝まで鉄筋籠の中に足	63	30 ～ 49

		を突っ込むと同時に転落しかけ、宙吊りになった。その際右足脛を骨折した。		
3	10~11	道路を横断して側溝を布設する工事のため、路面に鉄板を敷いて、その下を掘削していたが、高さ・巾等を確認するために中に入る際（鉄板の下をくぐろうとした際）に、鉄板に左肩をぶつけて負傷した。	19 9	1~ 9
3	14~15	会社資材置き場の片付け作業で出たゴミを、ダンプカーでゴミ処理業者の敷地に運搬し、そのゴミをおろす作業中に、ゴミがダンプカーから落ちにくかったため、ダンプ荷台後部の錠を外そうとし、誤って鋼板を左足に落としてしまった。	41 9	1~ 9
4	6~7	土場において材料をトラックに積み込み作業中、抱えていた足場材を膝の上に落として地面にひざまずき、右膝を負傷する。最後まで勤務し様子を見ていたが、痛みと腫れが出てきた。	25 9	1~ 9
5	14~ 15	現場で鉄筋組みをしている時、組んだ鉄筋に躓き手から転んだ。	23 9	30 ~ 49
6	16~ 17	工場の敷地内の工場にて、約100kgの架台をリフトで運んできたのを工場の中に3人で手で運び、架台を置く時に躓いて、架台と地面の間に手を挟み、右手の薬指を複雑骨折した。	66 9	1~ 9
6	10~ 11	加工場において、仮設材の整理をしていたところ、とび出していた角パイプにぶつかり転倒した。	65 9	10 ~ 29
7	16~17	自社倉庫の平坦な場所で幅150ミリのH鋼を積み上げ重ねている作業中、左手の人差し指がH鋼同志に挟まり、その瞬間指を引っ張り指の肉が取れた状況である。	19 9	1~ 9
7	1~2	26?ルート（2工区）立坑ライナープレート6段目（G?-3.5m）設置作業時において、クレーンにより地上から吊下されたライナープレート（38kg/枚）を設置作業をしている者に手渡しをする際によろめき、持っていたライナープレートを倒しそうになった所を咄嗟に押さえた際に左手首を負傷した。	23 9	1~ 9
7	9~ 10	ゴンドラの解体作業中、柵を取り外すためにボルトを取り外したところ、柵が床に着いていた左手に落ち負傷した。	55 9	1~ 9

7	16～ 17	工場で鉄筋の加工中、材料を取りに移動していたとき、栈木に躓いて痛みがはした。	18	10 ～ 29
9	10～ 11	基礎工事中、碎石をならしている時、立てかけてあった、鉄板の6m/mが倒れて胸に当たった。	50	1～ 9
10	16～ 17	本社資材置場にて、現場から返納された、軽量鋼矢板（LSP-I、1枚の重量は約50kg）L=3.5mを2名で、凸凹に積んであるのを、積み直しをしていた。2名で鋼矢板の両端は持ち、横に下ろす時に声掛けが合わず、右示指先端が鋼矢板の間に挟まった。	19	30 ～ 49
10	8～9	被災者は港に停留中のグラブ船を整備するため、90cm×180cm、厚さ5mm、重さ約80kgの鉄板を2人で運搬しようとしていた。立て掛けてあった鉄板を持ち上げて横にする瞬間に強風に煽られ鉄板を落下させ、骨折した。当日は台風の通過した翌日で、瞬間的な強風がたびたび吹いていた。	54	100 ～ 299
10	4～5	土砂置き場改良工事作業中、現場は海沿いで、台風の影響も受け、足元も悪かった。式鉄板の泥を洗い、汚れを落としている時に重ねた鉄板が、ずれてきたので思わず支えて右手を鉄板とコンクリート床に挟まれ、右手の平を挟み全体を負傷した。	48	1～ 9
11	8～9	倉庫内で転圧機（プレート）を搬出しようとした際に、足元に物がある不安定な状態で引っ張り転倒して腰を痛めた。	38	1～ 9
11	12～ 13	こんにやく工場内でこんにやく製造機のギアを別の商品のギアに交換するため、お湯のタンクの縁に乗って作業をしていたところ、長靴が滑って左足がお湯の中に落ちて火傷を負った。（お湯は75℃～85℃位）	43	30 ～ 49
11	12～ 13	ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本＝45m、900kg）を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きで、4輪とも回転するタイプであった。	55	30 ～ 49
		ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本＝45m、重量900kg）を掘削溝内		

11	12～ 13	に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きであり、ストッパーは付いていなかった。現場巡視及び点検の為の出張（消火器の点検）※会社パトロール	52	100 ～ 299
11	11～ 12	個人宅の外構工事現場において、ブロックアンカーに鉄筋を入れる作業中、法面で足を滑らせて前向きに倒れた時、アンカーにさしてあった鉄筋で首の左側を切創した。擦り傷で大したことなく放置していたが、腫れてきたため病院で受診した。	58	1～ 9
11	9～ 10	機材センターでトラックに積込作業をしている時、導水管が腰に当たり骨折した。	39	10 ～ 29
11	21～ 22	事務所作業場にて鉄骨資材塗装中に、養生中の鉄骨を倒してしまい、指を挟んでしまった。	26	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html